

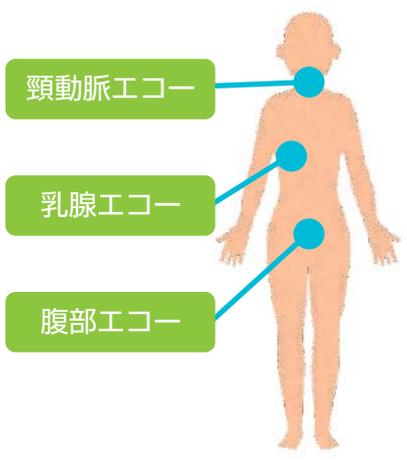


ほのか診察室

超音波検査とは、体に超音波を当て、その反射波（エコー）を利用して画像化や解析をする検査です。エコー検査ともいいます。

超音波検査はX線検査と異なり、放射線を浴びることがありません。胎児にも使われるほど安全で、痛みがなく短時間で終わるため、検査を受ける方への負担が少ない検査です。

当院（健診センター）は、3種類の超音波検査を行っています。今回はそれぞれの検査について紹介します。



シリーズ 第164話

健診でやろう！超音波検査

市民病院 健診センター

▽市民病院（代表）TEL 22・2171
ID 751376216（ほのか診察室）

1. 腹部エコー
主に肝臓や胆のう、膵臓、腎臓、脾臓に異常がないかを診めます。この検査を行うときは、絶飲食が基本です。

腹部エコーでわかる主な疾患	
肝臓	肝腫瘍・脂肪肝・肝のう胞など
胆のう	胆のう腫瘍・胆石・胆のうポリープなど
膵臓	膵腫瘍・膵のう胞・膵石など
腎臓	腎腫瘍・腎結石・腎のう胞など
脾臓	脾腫瘍・脾腫など

2. 乳腺エコー

超音波で乳房内の様子を写し、乳がんや良性腫瘍などを発見します。痛みがないため、安心して検査を受けていただけます。また超音波検査は、乳腺と乳がんの区別がしやすく、若い方に多い乳腺の発達した乳房（高濃度乳房）にも有効とされています。年齢に限らず高濃度乳房の方には超音波検査がおすすめです。

「乳がん健診」というと、マンモグラフィ（乳房X線撮影）と考える方が多いかと思えます。マンモグラフィと超音波検査は相補する関係にあり、それぞれ得意とする内容が異なります。両方の検査を受ける、あるいは交互に受けるなど、乳がんの早期発見につなげることが大切です。

3. 頸動脈エコー

頸動脈は首にある動脈で、動脈硬化を起こしやすいといわれています。



ます。動脈硬化の進行で問題となるのは、脳梗塞や心筋梗塞です。頸動脈を見れば全身の血管の状態を推測できることから、頸動脈超音波検査で動脈硬化の評価をする方法が普及しています。

検査の時は、仰向けの体勢で、首の左右両側に超音波装置を当てます。検査中は、血流や血管内が狭くなっていないかなどを観察しています。

超音波検査でさまざまな疾患を早期に発見、早期に治療することが大切です。現状を把握するためにも定期的に超音波検査を受けることをおすすめします。